

2022年5月26日  
KOBE モビリティフィールド協議会

神戸発！都市部のポートアイランド（第2期）『KOBE モビリティフィールド』で  
ローカル 5G 共創フィールドを提供し、未来志向の取り組みを加速させます。

## 1. 経緯

神戸市と日本コンピューターネット株式会社及び TOA 株式会社は、神戸発の安全で安心な国産ドローンを活用した新たな情報発信の検討等を継続的に取り組むため、令和3年8月17日に連携協定（以下「本協定」という）を締結し、ポートアイランド（第2期）を「KOBE モビリティフィールド」として活用しています。

## 2. 次世代無線ネットワーク（ローカル 5G）の提供

令和4年4月26日総務省より都市部に立地の「KOBE モビリティフィールド」で申請したローカル 5G (Sub6、4.7GHz 帯) 無線局が免許の付与を受けました。市民の安全安心のため、次世代無線ネットワーク（ローカル 5G）を導入し、未来志向の取り組みを一層加速させます。

都市部で 180m×100m の広さを持つ共創フィールドで、この度の免許取得で企業・研究機関など、それぞれのユースケースに合わせたローカル 5G の電波特性の確認、機器との接続検証など性能評価の利用が可能となりました。

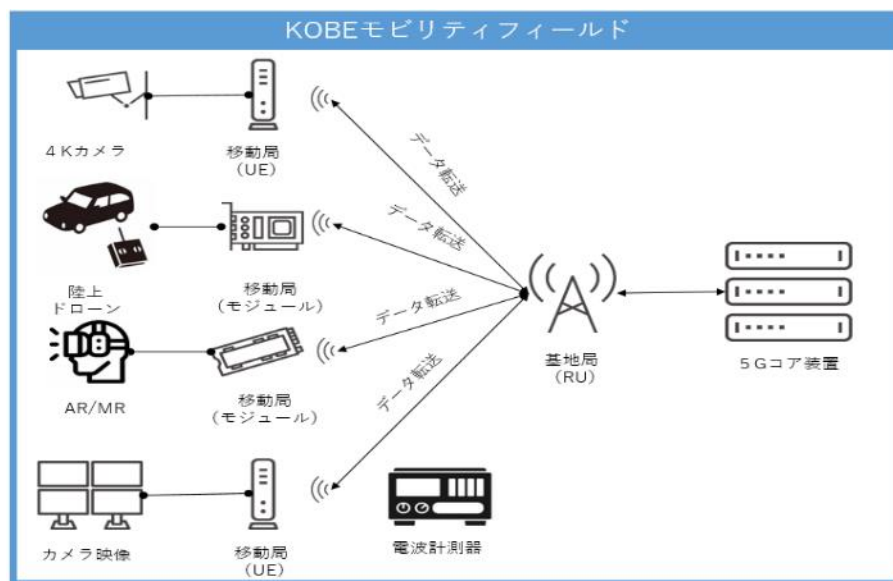
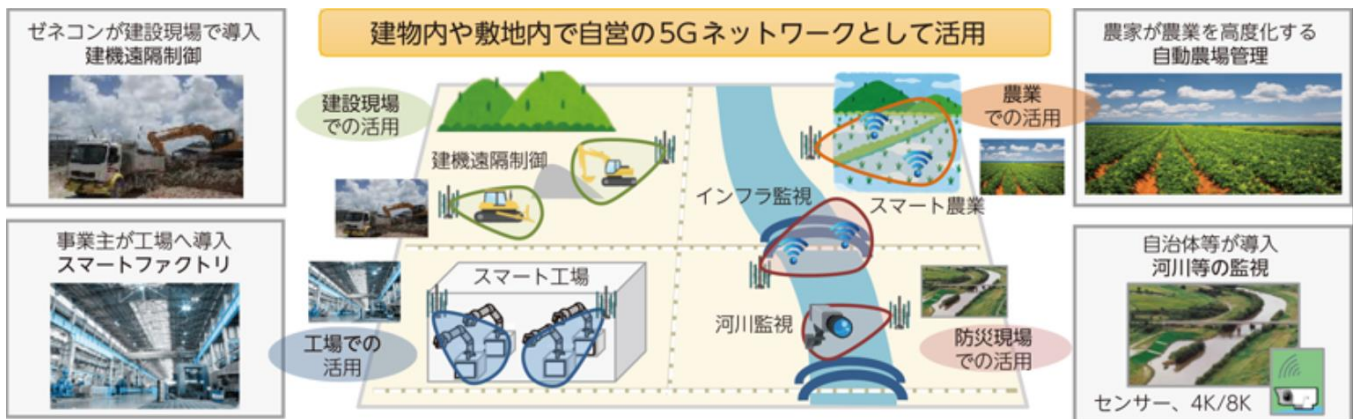
今後、社会実装に向けた検証と課題を解決するため本年3月に設立された「KOBE モビリティフィールド協議会」を通じて活用して参ります。

### 【ローカル 5G とは】

「超高速」「低遅延通信」「同時多数接続」を実現する 5G ネットワークを、多様なニーズに応じて高セキュリティで構築できる自営の無線通信網です。

### ＜今後想定される取り組み＞

- ・国産のスピーカー搭載ドローンとローカル 5G 通信の連携
- ・低遅延通信によるドローンの遠隔操作
- ・様々な産業機器への展開



ローカル 5G 検証将来イメージ

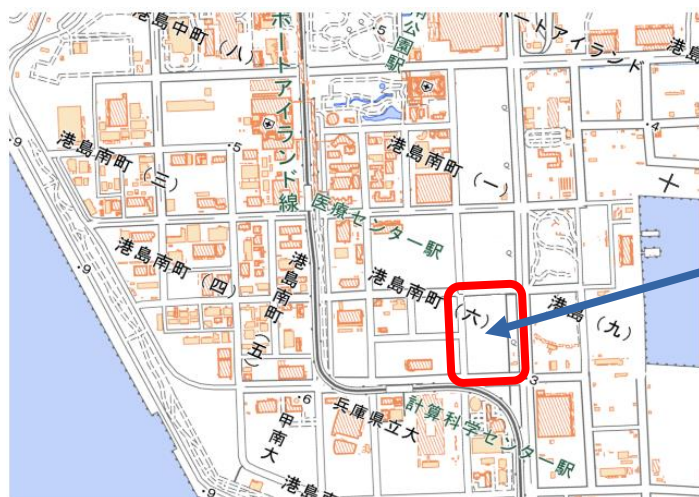
### 3. 今後の取り組み

弊協議会は、ローカル 5G の環境下で「KOBE モビリティフィールド」の立地の優位性を活かし、国産のスピーカー搭載ドローンや地上走行ロボットの開発のみならず、ドローン配送や災害時の活用等、社会実装の場の提供を行うことで、未来志向のテクノロジー実現の取り組みを推進していきます。

#### 参考. KOBE モビリティフィールド協議会の設立(電話 0120 - 93 - 2374)

「KOBE モビリティフィールド協議会」は、本協定に基づき設立されました。フィールドを利用希望する企業・研究期間などに参画を促し、未来志向のモビリティサービス実現に向けた取り組みをより加速させ、市民の安全安心に貢献することを目指しています。(KOBE モビリティフィールド協議会 HP : <https://kobemfc.com/>)

## 参考) KOBE モビリティフィールド付近図



活用エリア南北  
南北 180m × 東西 100m

※地理院地図を加工して使用



### 【KOBE モビリティフィールド協議会 概要】

理事長：沖 貴博  
設立：2022年3月1日  
所在地：神戸市中央区港島南町 6-2-1

本件に対する報道機関からのお問い合わせ先  
KOBE モビリティフィールド協議会事務局 info@kobemfc.com